

令和8年度 事業計画 (主なもの)

地域福祉活動の推進

- ・地域福祉推進協議会への支援
- ・ふれあい給食サービス事業への支援
- ・地域支えあい事業への支援
- ・重層的支援体制整備事業の実施
- ・ふれあい・いきいきサロンの整備・支援
- ・高齢者はつつつ長寿推進事業の実施



高齢者はつつつ長寿推進事業の実施



福祉教育の推進

ボランティア活動の振興

- ・なでしこサポート隊の運営支援
- ・ボランティア活動への支援
- ・災害ボランティア等との連携
- ・福祉教育の推進



災害ボランティア等との連携

第5次 名東区地域福祉活動計画の推進

- ・「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催
- ・名東区子ども・子育て支援応援助成事業の実施

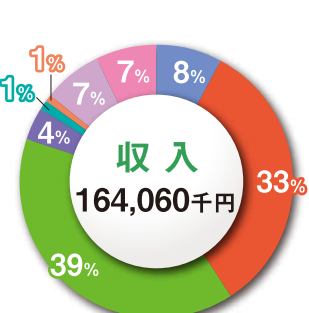
その他の事業

- ・めいとう福祉まつりの開催
- ・名東児童館の運営
- ・各種団体事業への助成
- ・低所得世帯等への貸付事業
- ・赤い羽根共同募金運動への協力

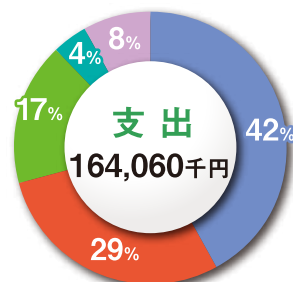


赤い羽根共同募金運動への協力

〈令和8年度〉収支予算額



市補助金	12,707千円
市社協助成金	54,673千円
受託金(市・県社協)	64,254千円
共同募金配分金	6,989千円
会費・賛助会費・寄付金	2,508千円
事業収入(児童館)	1,018千円
繰越金	10,974千円
その他	10,937千円



法人の運営(在宅サービスセンター管理含む)	68,940千円
名東児童館の運営	47,497千円
地域福祉活動の推進(ボランティア活動の振興含む)	28,143千円
各種福祉事業(助成事業等)	6,989千円
その他	12,491千円

令和7年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動実績報告

皆様からお寄せいただいた募金は、名東区の地域福祉活動を始め、社会福祉施設の支援や地域福祉推進のための様々な活動のために役立てられます。多大なご協力をありがとうございました。

赤い羽根共同募金 8,485,194円

- ・戸別募金 7,106,513円
- ・職域募金 29,858円
- ・街頭その他 333,920円
- ・法人募金 429,100円
- ・学校募金 585,803円

歳末たすけあい募金 1,735,519円

ご協力ありがとうございました



万が一に備えて

事前に ボランティア活動保険 に加入しましょう!

□ **ボランティア活動保険**・・・ボランティア自身が活動中にケガをした場合(傷害事故)、他人にケガをさせた場合(損害事故)などの事故を幅広く補償をするものです。年間保険料(Aコース¥250・Bコース¥300・Cコース¥500※他に天災プラン有り)

- 特徴**
- ・活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
 - ・熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
 - ・地震など天災によるケガも補償(天災プランに加入の場合)

※社会福祉協議会の窓口で加入の受付をしておりますので、活動の前日までにご加入ください。

□ **ボランティア行事保険**※熱中症・食中毒も対象・・・地域福祉活動の一環としてボランティア活動に関する各種行事における主催者及び参加者のケガや賠償責任を補償する。

開催報告

第34回

めいとう福祉まつり

2月22日(日)に名東文化小劇場・上社レクリエーションルーム・名東区役所講堂で、「第34回めいとう福祉まつり」が開催されました!

約1,600名の方にご来場いただき、盛況のうちに終わることができました。はじめての2会場開催でしたが、ステージ・販売コーナー・体験ブース・バザーと多くの方に楽しんでいただくことができました。

※運営・協賛品等にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



販売ブースの様子



体験ブースの様子



名東区役所講堂・バザーの様子

開会式の様子



ステージの様子

来年も皆さんにお会いできることを楽しみにしています♪

傾聴ボランティアグループ「ふうかちゃん」が発足しました!

令和7年度開催した「傾聴ボランティア養成講座」の受講者を中心に、新たに傾聴ボランティアグループ「ふうかちゃん」が誕生しました。

今年度からの本格的な活動に向けて、月1回の定例会や施設での傾聴体験など、活動を始めています。現メンバーは30名! 今後は高齢者施設など、地域のさまざまな場で活動を広げていきたいと考えています。

「傾聴ボランティアに来てほしい」という施設の方、また「活動に参加してみたい」という方は、どうぞお気軽に名東区社会福祉協議会までご連絡ください♪

重層的支援体制整備事業って何だろう?

一言で表すと「みんなが困った時に支えあえる仕組み・体制づくり」を行う事業です。「包括的な支援体制づくり」を様々なひとが関わり・つながり・連携して実現を目指します。



Q 重層的支援体制整備事業はどうしてできたの?

A これまでに、相談者の属性や困り事に応じて、様々な専門的な相談窓口ができました。近年、今ある相談窓口や制度だけでは対応しきれない、「制度の狭間」とも呼ばれる多様で複雑な困り事が増えてきたことが背景にあります。(8050問題、ひきこもり、ヤングケアラー、社会的孤立など)

Q 重層的支援体制整備事業はどんな取り組みをするの?

- A
- ①機関・団体をつなぎます(多機関協働事業)
 - ②その人に寄り添い、つながり続けます(アウトリーチ等を通じた継続的支援事業)
 - ③自立のための第一歩を応援します(参加支援事業・地域づくり事業)

お問合せやご相談は **名東区社会福祉協議会** にご連絡ください